Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-04

コロナ禍における日本の陰謀論を問う

栗原, 健太

(Citation)
日本文化論年報,26:127*-179*

(Issue Date)
2023-03

(Resource Type)
departmental bulletin paper

(Version)
Version of Record

(JaLCDOI)
https://doi.org/10.24546/0100481683

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100481683

コロナ禍における日本の陰謀論を問う

栗　原　健　太

序章　　本卒論の背景と目的

第１節　背景

コロナ禍において、陰謀論やデマが世界的に広まっている。本論文では様々な情報媒体の分析を参考に、陰謀論がなぜ生まれ、どのようにして拡散し、我々の脅威となりうるのか、その仕組みの解明に貢献したいと考えた。このような問題意識を抱く背景は、以下の４つを挙げることができる。

まず１つ目は、すさまじい速さで発展したソーシャルメディアを介して、嘘やデマ、陰謀論やプロパガンダといった虚偽情報が大規模に拡散し、私たちの日常生活や民主主義を脅かすほどの深刻な社会レベルの問題になってきている。「フェイクニュース」という言葉は、2016 年に世界的に生じた偽ニュースの氾濫とそれらが引き起こした混乱をきっかけに、事実かどうかわからない情報の代名詞として使われるようになった。

2016 年のフェイクニュース現象を象徴する出来事としては、「ピザゲート事件[1]」が挙げられるだろう。きっかけは 2016 年合衆国大統領選挙期間中、ヒラリー・クリントン候補陣営の選挙責任者であったジョン・ポデスタのメールがハッキングされ、告発サイトウィキリークスを通じて外部に漏洩した事件に遡る。公開されたメールの内容は、すぐさま 4chan のインターネット探偵たちの餌食にされ、民主党陣営がピザ屋の地下で児童売春事業を営んで

1　「米民主党の「ピザゲート」？　偽ニュースや陰謀論の生まれ方」『BBC NEWS JAPAN』2016 年 12 月 2 日
https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-38179131【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】

いる、という荒唐無稽とも見える陰謀論が生まれた。

また同年12月3日、この陰謀論を信じたエドガー・マディソン・ウェルチという男が、ワシントンDCのピザショップ「コメット・ピンポン」に銃を持って押し入り発砲するという事件が起きた。ウェルチの屈折した正義感やインターネットに氾濫する陰謀論、それらを拡散する人々やボットなど、様々な要因によって偽ニュースが現実世界を動かす事件が起こったのである。

2つ目は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、新型コロナウイルス感染症に関連するデマや陰謀論、不確かな情報等が拡散し、人々の不安や恐怖を煽ったり、他人への差別や偏見を助長したりといった個人レベルの問題が顕在化している。世界保健機関は、新型コロナウイルスをめぐり誤った情報がインターネット上を通じて拡散され、悪影響を起こす状態を「インフォデミック」と呼び、注意を促した[2]。インターネットで「新型コロナワクチン」を検索にかけると、「人口削減の一環」「マイクロチップが埋められて5G通信で監視される」「コロナは生物兵器」などの陰謀論めいた情報が多く散見される[3]。

また、近年SNS上では「家族が陰謀論に振り回されて辛い」といった投稿が相次いでいる。陰謀論に傾倒した結果、家族や友人との関係性が悪化し、周りの人間関係に深刻な影響を及ぼしているのである。西日本に住む会社員の男性は、妻がYouTubeで目にした陰謀論の動画にはまり昨年夏ごろからマスクを着けなくなり、咎められると激昂するようになった、と言う。男性は妻との離婚も考えている。また、埼玉県に住む会社員の女性は、同居する70代の母親がネット上のデマを信じてしまい、普段の会話をすることすら困難になった現実を受け止められないでいる[4]。このように、個人レベルでもデマや陰謀論をきっかけに距離を置いた相手がいる、ということが珍しく

2　公益社団法人 日本WHO協会
https://japan-who.or.jp/news-releases/2009-31/【2021年12月21日最終閲覧】

3　「まだネットに出るワクチン陰謀論　あなたは信じる？若者に聞いた」『朝日新聞』2021年8月27日

4　「［虚実のはざま］深まる断絶（4）家族豹変　相談できず」『読売新聞』2021年9月14日

なくなりつつある。

背景の3つ目として、デマや陰謀論は、私が関心のある宗教分野と繋がりがあるのではないかと考える。日本では1970年代から広まった呪術や宗教的大衆文化を背景として、オカルトに関する雑誌や書籍などを通して陰謀論が知られるようになった経緯がある。その最たるものが、オウム真理教における陰謀論だろう。

また2021年1月6日、アメリカ連邦議会乱入事件でQアノンのシャーマンとして知られたジェイコブ・チャンスリーは、角のついた服を着用し、身体に北欧神話のタトゥーを施しており、少なからず宗教的な要素を帯びているように感じられた。21世紀に入り、終末論と結びついた陰謀論を信奉するキリスト教福音主義者や、オカルトやニューエイジのようなスピリチュアルが合体する動きがあり、社会学者のシャーロット・ワードとデイビッド・ボアスはコンスピラシーとスピリチュアルからコンスピリチュアリティという用語を提案している。

さらに、宗教も陰謀論も、知られていないことこそがそれらが存在する証であるという論駁不可能な論理構造をとる点は、両者に共通して見られる特徴である。もっとも、近年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行と共に、デマや誤った情報、社会的不安が広まっており、危機がもたらす不透明さや不安、無力感に駆られて極端な思考に走ってしまう傾向があることは否めないだろう。しかし、こうした「何かにすがりたい、信じたい」という考え方も、宗教と陰謀論は通じるものがあるのではないかと考える。

最後に4つ目として、卒業論文を通して、現在起こっている社会問題を、市民社会に生きる一人として考えたかったという私個人の強い思いを挙げておきたい。人類史の中でソーシャルメディアが強大な社会的影響力を持つようになったのはまだ約数十年であり、新型コロナウイルス感染症の世界的流行と情報媒体に付随する様々な問題も、まさに近年始まったばかりのものである。そのため、研究としては未だ少なく、先行研究も限られたものであるが、だからこそ私がこうした諸問題に声をあげ言葉を発し、より良い社会作りを目指して模索する必要があると考える。また言葉を残すことで、次の世代に言葉のバトンを繋げていくことができるだろう。新型コロナウイルス感

染症流行の影響により、大学での授業がオンライン講義になり、大学での学びが形骸化し、大学教育がますます社会的、経済的に成功するための手段になりつつある今、私は社会に生きる一人として言葉を発していきたいと考えている。少し大袈裟ではあるが、この卒業論文を通して、人類史の中で長く続いてきた言葉を次の世代へ受け継いでゆくという共同作業に、私自身も加わりたいという意味合いもあるのである。

以上4点の背景の下、本テーマを選択したのは、

1 現在のコロナ禍におけるデマや陰謀論の広がりを考えることによって、それらが成立する社会的背景や基盤を理解することができ、

2 さらにそれらの背景要因に対する対処法を考えること

が可能であると考えたからである。

コロナ禍におけるデマや陰謀論の広がりを考える理由として、近年のソーシャルメディアの登場により、デマや陰謀論、不確かな情報等の拡散がそれ以前に比べ、より顕著に社会問題になってきているからである。また、生まれた時代の経験やその後の成長、老化に伴い、若い世代と高年層では主に使用する情報媒体に違いがある。そのため、若い世代と高年層の違いを十分に考慮した上で、デマや陰謀論の広がりを考察する必要がある。デマや陰謀論が流布する背景要因に対する対処法を考えることは、我々のあらゆる情報媒体に対する態度を見直すきっかけにもなる。デマや陰謀論に溢れた世界がスタンダードになりつつある今、陰謀論の時代を生き抜く姿勢の参考になるのではないかと考えた。

以上の2点から、デマや陰謀論の広がりを情報媒体や対象の世代で分けて考察することにより、それらが成立する社会的背景や基盤を理解し、対処法を考えることにした。

第2節　先行研究の整理と本論文の目的

前節で述べた問題意識に関わる先行研究について整理し、併せて本論文が

解明したい目的を述べる。

陰謀論をめぐる先行研究として、副島隆彦『陰謀論とは何か』（幻冬舎新書、2012 年）、田中聡『陰謀論の正体！』（幻冬舎新書、2014 年）などが挙げられる。また論壇雑誌でも、『中央公論 陰謀論が世界を蝕む』第 135 巻第 5 号（2021 年 5 月）、『現代思想 特集「陰謀論」の時代』第 49 巻第 6 号（2021 年 5 月）といった特集号が組まれている。

なかでも特に重要な先行研究として、笹原和俊『フェイクニュースを科学する』（同人文庫、2021 年）[5]を挙げることができる。笹原氏は、主に 2016 年のアメリカ大統領選挙からのフェイクニュース現象の全体を俯瞰し、フェイクニュースの拡散に関わる人間の認知特性や情報環境、情報量の問題について説明している。笹原氏はこれらの 3 つの問題について、互いに独立しているのではなく、相互に影響し合うことでフェイクニュース現象をより一層複雑にしていると述べている。

1 つ目の問題である我々の認知特性について、「見たいように見る」、「みんなと同じようにする」という人間の認知バイアスが偽ニュースをさらに拡散しやすい状態を作り出すと述べている。さらに、それらの情報を見れば見るほど、そして刺激的な情報であればあるほど、共有され拡散されやすいという。これを踏まえて、人々に拡散されやすい偽ニュースとは、受け手の意見や価値観、思い込みや偏見に合致するニュース、受け手の感情を刺激するニュース、皆が評価しているニュースの 3 つであると結論づけている。

2 つ目の問題である情報環境について、ソーシャルメディア上では似た者同士が繋がり、自分好みの情報を選択することによって、自分の興味関心のある情報のみが届き、自分とは違う意見がシステム的に隠蔽され閉じた環境が形成されると述べている。こうした情報環境ではニュースのふりをした偽情報も紛れ込んで拡散されるため、偽ニュースの温床になるという。そのため、人間の認知特性とソーシャルメディアの相互作用を正しく理解した上で、ソーシャルメディアを活用する必要があると結論づけている。

3 つめの問題である情報過多について、無尽蔵に増え続ける情報量に対し

5　笹原和俊『フェイクニュースを科学する』同人文庫、2021 年（初版、化学同人、2018 年）

て、我々の注意力という認知的資源は有限なままである。そのため、扇情的なニュースや憎悪に満ちた投稿等が情報過多と注意不足の隙をついて侵入してくるという。加えて、現実を修正したり拡張したりすることを可能にするテクノロジーの進歩が著しく、ボットやAIを悪用した虚偽情報が民主主義の根幹を脅かす脅威になりつつあると述べている。

また笹原氏と同様に、情報生態学の視点から、藤代裕之『フェイクニュースの生態系』（青弓社、2021年）が、主に政治活動におけるフェイクニュースについて言及しており、フェイクニュースの拡散過程やそれらへの対抗策についても指摘している。

様々な陰謀論やデマ、誤情報等が飛び交う現在、こうした貴重な成果が積み重ねられてきているが、これらは誤情報が拡散する理論やその大まかな基盤などが説明されている一方で、地道で具体的な事柄や物事に即した記述が少ないという限界がある。

以上のような先行研究の整理を踏まえて、本論文は、主に書籍とインターネットに焦点を当て、それらの媒体が陰謀論やデマといった誤情報をどのように広め、その誤情報を信じる人々はどのような特徴や傾向をもつのか具体的に明らかにすることを第一の目的とする。本論文は、情報生態学に基づく笹原氏の成果を踏まえつつ、具体的な書籍やインターネット上での活動に即した実態を明らかにすることで、笹原氏の成果を補完することができると考えている。

そして第二に、新型コロナウイルス感染症の流行とともに社会問題となっている陰謀論やデマの蔓延を受けて、こうした時代だからこそ誤情報に騙されない姿勢とはどのようなものなのか模索することを目的とする。この目的は、実態分析を踏まえてはじめて達することができるだろう。

加えて、「陰謀論」をテーマとして取り扱うに当たって、「陰謀論」という言葉の定義をあらかじめ明確にしておく必要があると考える。そこで「陰謀」という語を日本国語大辞典で調べると、1に「ひそかに企てる謀。謀反、悪事の相談。また、その相談をすること。」、2に「法律で、二人以上の者が、ある犯罪行為を謀議することをいう。」と記載されている。また、広辞苑でも同様に、1に「ひそかにたくらむはかりごと。」、2に「二人以上の者が犯

罪行為を謀議すること。」と説明されている。

これらの特に1を参考に、謀（「陰謀論」）の種類は大きく2つに分けることができると考える。それは、自分より弱いもの、差別や蔑視の対象とされる集団や民族を主語とする「陰謀論」と、自分より強いものを主語とする「陰謀論」である。さらに、「陰謀論」という言葉が使われる際には、取るに足りない主張として否定的に用いられることがしばしばある。これらを踏まえて、私は「陰謀論」を以下の5つの基準をもって定義することとする。

「陰謀論」の定義

1 自分より弱いもの、あるいは差別や蔑視の対象とされる集団や民族を主語とする陰謀論。

2 自分より強いものを主語とする陰謀論。

3 権力の関与を語っているということ。

4 同じ出来事についての主流の説明を拒絶するということ。

5 陰謀論は中立的な概念ではなく、取るに足りないとみなされる主張に対する否定的なレッテルとして用いられるということ。

本論文は新型コロナウイルス感染症に関するデマや陰謀論の実態を分析したものであるため、「陰謀論」の定義では主に2、3、4、5が該当すると考える。

最後に、本論文の構成について説明する。本論文は上述の2つの目的について分析したものである。以上の問題意識より、本論文ではメディアの中でも特に書籍とインターネットを取り上げるため、以下の構成をとる。

第1章では、書籍という媒体に注目する。第1節では市販されている新型コロナワクチンに関連する書籍を実証的な側面から分析し、第2節ではそれらの特徴や傾向を整理、検討する。

第2章では、インターネットという媒体に注目し、インターネット上での新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動について取り上げる。第1節ではこれらの活動の背景や要因を整理、検討し、第2節ではこれらの活動に参加する人々の特徴や傾向を分析する。

終章では、本卒論のまとめと提案を述べる。

第１章　　書籍という媒体

本章では、まず市販されている新型コロナワクチンに関連する書籍を取り上げる。第１節ではそれらの書籍を、データを用いた実証的な側面から分析し、第２節ではそれらの書籍に関する特徴や傾向をより深く考察する。

第１節　新型コロナワクチンに関する書籍の現状

2020 年、新型コロナウイルス感染症がパンデミックと呼ばれる世界的な流行になって以降、それらに関する様々な書籍が刊行されており、その中には俗に陰謀論本と呼ばれるものが多く含まれている。ここでは、近年社会問題となっている新型コロナワクチン反対派の書籍に注目する。

その前に、新型コロナウイルス感染症の流行と政府の主な施策[6]を簡単に振り返っておく（表１）。なお、対象範囲は 2019 年 12 月～ 2021 年 11 月とする。

表１　新型コロナウイルス感染症の流行と政府の主な施策（時系列順）

西暦と日付	主要な出来事
2019 年	
12 月 31 日	中国当局から WHO へ原因不明の肺炎発生を報告。
2020 年	
1 月 16 日	国内で初めて感染者が確認される。
2 月 29 日	東北で初めて感染者が確認される。仙台市の 70 代男性で、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客。 この時期に使い捨てマスクやアルコール消毒液が全国各地で品薄となる。

6 「長引くコロナ禍、時系列で振り返る　アベノマスクにＧｏＴｏ、オミクロン株登場…」『河北新報』2021 年 9 月 1 日
https://kahoku.news/articles/20210901khn000034.html【2021 年 12 月 31 日最終閲覧】

3月24日	東京五輪・パラリンピックが史上初めて1年延期されることに決まる。
4月7日	政府は東京など7都府県に緊急事態宣言（1回目）を発令し、16日に全国に対象を拡大する。 人と人の接触機会8割削減を目標に掲げ、5月25日まで継続される。
4月11日	全国の新規感染者が644人と第1波がピークを迎える。
5月	国民1人当たり現金10万円を支給する「特別定額給付金」の申請受け付けが順次スタート。全世帯に2枚ずつ配る布マスク、いわゆる「アベノマスク」の配達が始まる。
7月22日	政府の観光支援事業「GoToトラベル」が始まる。 当初除外された東京都発着の旅行は10月から追加される。
8月7日	全国の新規感染者が1597人と第2波のピークになる。
11月	第3波が始まる。
12月28日	政府は「GoToトラベル」を停止。 再開するきっかけがつかめず、停止状態が長期化する。
2021年	
1月7日	緊急事態宣言（2回目）を首都圏に発令。 その後、11都府県に拡大する。3月21日まで継続される。
1月8日	全国の新規感染者は8045人。第3波がピークを迎える。
2月17日	医療従事者を対象にした新型コロナワクチン接種が始まる。
4月5日	全国で再び感染が拡大。変異株「アルファ株」が関西を中心に流行し、5月にピークを迎える「第4波」に繋がる。 政府は緊急事態宣言に準じた対策を可能とする「まん延防止等重点措置」を宮城、大阪、兵庫3府県に初めて適用。 その後、対象を広げる。
4月12日	65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種が始まる。

4月25日	政府は4都府県を緊急事態宣言（3回目）に格上げする。
6月20日	10都道府県に発令していた宣言が沖縄を除いて解除される。
6月21日	企業や大学などによる職域接種が始まる。
7月12日	第5波が始まる。感染爆発を引き起こしているのは変異株「デルタ株」とみられる。高齢者のワクチン接種が進んだ結果、50代以下の中高年や若年層で感染が広がる。政府は沖縄県に出していた緊急事態宣言の対象に再び東京都を加える。
7月23日	1年延期された五輪が緊急事態宣言下で開幕される。 開会式及び閉会式を含めてほとんどの競技が無観客になる。
8月2日	神奈川や大阪など4府県が緊急事態宣言の対象に追加される。
8月20日	新規感染者が全国で過去最多の2万5852人を記録。 緊急事態宣言の対象に京都や福岡など7府県が追加される。
9月1日	全国の累計感染者が150万人を超える。 宣言は21都道府県に出ている。
9月30日	19都道府県に発令していた緊急事態宣言と宮城、福島など8県のまん延防止等重点措置が全面解除される。
11月9日	自民、公明両党が新型コロナ経済対策として18歳以下の子どもに10万円相当を給付する方針で一致する。
11月26日	世界保健機関（WHO）が南アフリカなどで確認された新型コロナウイルスの新たな変異株を、最も警戒レベルが高い「懸念される変異株（VOC）」に指定し、「オミクロン株」と命名する。
11月30日	オミクロン株感染者が日本で初めて確認される[7]。

7 「オミクロン株感染者 日本初確認 ナミビアから入国の30代外交官」『NHK』2021年11月30日
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211130/k10013368041000.html【2021年12月31日最終閲覧】

次に、国立国会図書館ホームページの蔵書検索[8]にて、2020 年 1 月～ 2021 年 10 月に刊行された書籍を対象とし「コロナ ワクチン」のキーワードで検索すると、54 冊が該当した。刊行されているこの 54 冊の内容を、新型コロナワクチン接種に関して賛成派、慎重派、反対派の 3 つのカテゴリーに分類した（表 2）。なお、分類基準は以下の通りとする。

賛成派…新型コロナワクチン接種を推進、または接種を前提に論じている本。
慎重派…新型コロナワクチン接種の様子見を推奨、または接種の是非を判断せず新型コロナワクチンを解説している本。
反対派…新型コロナワクチン接種に反対、または接種の恐怖心を煽るような論調の本。

表 2　新型コロナワクチンの関連書籍（刊行順）

書籍名	著者名	刊行年月日	出版社名	新型コロナワクチン接種に対する姿勢
新型コロナの正体 日本はワクチン戦争に勝てるか!?	長谷川幸洋、森下竜一	2020/05/23	ビジネス社	慎重派
ウイルス VS 人類	瀬名秀明、押谷仁、五箇公一、岡部信彦、河岡義裕、大曲貴夫	2020/06/19	文春新書	賛成派
コロナと 5G	船瀬俊介	2020/07/27	共栄書房	反対派
どうする⁉ 感染爆発‼：日本はワクチン戦略を確立せよ！	長谷川幸洋、森下竜一	2020/08/26	ビジネス社	慎重派
コロナと陰謀	船瀬俊介	2020/09/04	ヒカルランド	反対派

8　国立国会図書館サーチ
https://iss.ndl.go.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】

本当はこわくない新型コロナウイルス	井上正康	2020/11/20	方丈社	慎重派
PCR は、RNA ウイルスの検査に使ってはならない	大橋眞	2020/12/03	ヒカルランド	反対派
ウイルスは［ばら撒き］の歴史	菊川征司、船瀬俊介	2020/12/07	ヒカルランド	反対派
新型コロナとワクチン　知らないと不都合な真実	峰宗太郎	2020/12/10	日経 BP 日本経済新聞出版本部	慎重派
新型コロナ［ばら撒き］徹底追跡	菊川征司	2020/12/15	ヒカルランド	反対派
コロナとワクチン	船瀬俊介	2021/01/18	共栄書房	反対派
北の学校から PC ナイ検査が始まった	大橋眞	2021/01/25	ヒカルランド	反対派
新型コロナワクチンを打つ前に読む本	森下竜一	2021/02/20	かや書房	賛成派
ワクチン SOS!	高橋徳	2021/02/24	ヒカルランド	反対派
新型コロナウイルスワクチンのすべてがわかる本	峰宗太郎	2021/03/10	宝島社	賛成派
打つな！飲むな！死ぬゾ‼	飛鳥昭雄	2021/03/17	ヒカルランド	反対派
コロナ自粛の大罪	鳥集徹	2021/03/19	宝島社	慎重派
新型コロナとワクチンのひみつ	近藤誠	2021/03/22	ビジネス社	慎重派
今だから知るべき！ワクチンの真実	崎谷博征	2021/03/27	秀和システム	反対派
新型コロナワクチン打つ前に知っておきたいこと	宮坂昌之	2021/04/15	宝島社	賛成派
パンデミックに突入した地球	A・ジョルジェ・C・R	2021/04/20	ヒカルランド	反対派
新型コロナワクチン Q&A100	コロワくんサポーターズ	2021/04/22	日経メディカル開発	賛成派

新型コロナワクチン接種前からの新習慣「命の野菜スープ」	高橋弘	2021/04/24	主婦の友社	賛成派
PCR とコロナと刷り込み	大橋眞	2021/05/07	ヒカルランド	反対派
新型コロナワクチンを打つ前に知ってほしい大切なこと	奥田研爾	2021/05/13	現代書林	賛成派
新型コロナが本当にこわくなくなる本	井上正康	2021/05/14	方丈社	慎重派
新型コロナワクチン：遺伝子ワクチンによるパンデミックの克服	杉本正信	2021/05/26	東京化学同人	賛成派
新型コロナワクチン その実像と問題点	天笠啓祐	2021/06/08	緑風出版	慎重派
新型コロナワクチンの正体	内海聡	2021/06/10	ユサブル	反対派
新型コロナウイルス感染症と自治体の攻防	尾関俊紀、徳田安春、平岡和久、保坂展人、大野正喜、市谷知子、齋藤文洋、大川剛史、岡上則子	2021/06/10	自治体研究社	賛成派
もうだまされない 新型コロナの大誤解	西村秀一	2021/06/23	幻冬舎	慎重派
コロナワクチン幻想を切る	井上正康	2021/06/27	ヒカルランド	慎重派
秘密率 99% コロナと猛毒ワクチン	飛鳥昭雄	2021/07/01	ヒカルランド	反対派
コロナ生活、ワクチンと感染予防で最も大切なこと	渡辺雄二	2021/07/10	青志社	賛成派
新型コロナワクチン 副作用が出る人、出ない人	近藤誠	2021/07/12	小学館	慎重派
世界の黒幕「悪魔のシナリオ」	国際情勢ファクト研究所	2021/07/13	宝島社	反対派

コロナの副作用！	和田秀樹	2021/07/20	ビジネス社	慎重派
新型コロナと安倍独裁政権	飛鳥昭雄	2021/07/21	ヒカルランド	反対派
新型コロナワクチンの闇	大橋眞	2021/07/23	知玄舎	反対派
コロナワクチンの恐ろしさ	高橋徳、中村篤史、船瀬俊介	2021/07/26	成甲書房	反対派
コロナワクチン、被害症例集	中村篤史	2021/07/29	ヒカルランド	反対派
コロナとワクチン歴史上最大の嘘と詐欺１	ヴァーノン・コールマン	2021/07/29	ヒカルランド	反対派
「新型コロナワクチン」とウイルス変異株	五條堀孝	2021/07/29	春秋社	賛成派
大丈夫か、新型ワクチン	岡田正彦	2021/08/10	花伝社	反対派
新型コロナワクチン 本当の「真実」	宮坂昌之	2021/08/18	講談社	賛成派
コロナワクチンのひみつ	大橋眞	2021/08/30	ヒカルランド	反対派
コロナとワクチン　歴史上最大の嘘と詐欺２	ヴァーノン・コールマン	2021/09/13	ヒカルランド	反対派
ワクチンで殺される	船瀬俊介	2021/09/22	共栄書房	反対派
コロナとワクチンの全貌	小林よしのり、井上正康	2021/09/30	小学館	慎重派
コロナワクチン３回目打ちますか？	志賀貢	2021/10/01	幻冬舎	慎重派
コロナのウソとワクチンの真実	近藤誠	2021/10/05	ビジネス社	慎重派
コロナは幻	電波人間こと toshichan-man（著）	2021/10/05	ヒカルランド	反対派
ワクチンよりも大切なこと	本間 真二郎	2021/10/08	講談社ビーシー	慎重派
文句はあるか⁉	斉藤新緑、船瀬俊介	2021/10/22	ヒカルランド	反対派

これを元に分類すると、対象54冊のうち、12冊が賛成派、16冊が慎重派、26冊が反対派に分類された。約半数の書籍が新型コロナワクチン反対派に分類され、中でもヒカルランドからは17冊、共栄書房からは3冊が出版されており、この2つの出版社がその大多数を占めていることが分かった。また、新型コロナワクチン反対派の書籍に概ね見られる傾向は、同じ著者が複数冊書籍を出版しているということであり、ヒカルランドからは飛鳥昭雄氏が3冊、大橋眞氏が4冊、船瀬俊介氏が3冊出版しており、共栄書房からは船瀬俊介氏が3冊出版している。つまり、新型コロナワクチン反対派の書籍のうち、ちょうど半数の13冊がこの3人によって執筆されているものであるということになる。

新型コロナウイルス感染症に関連するデマや陰謀論、不確かな情報等が広まっているが、主に書籍から情報を収集する人々にとっては、それら著者の意見を鵜呑みにし、拡散している人々も多いのではないだろうか。また、政府が新型コロナワクチンの接種を推し進める一方で、書籍は新型コロナワクチン反対派の方が多数世間に出回っており、情報が錯綜しているのが現状である。新型コロナワクチン反対派の言論の自由をどこまで許容するかは難しい問題であるが、それらが時に危険な言論にもなり得るということを私たちはあらかじめ念頭に入れておかなければならないだろう。

さらに、神戸市を含む5つの政令指定都市の公共図書館における新型コロナワクチンの関連書籍所蔵状況について調べる（表3）。政令指定都市とは現在全国に20市あり、法定人口が50万人以上で、なおかつ政令で指定された市のことである。平成27年の国勢調査によると、その中で最も規模が大きいのは横浜市で人口3724844人であり、最も規模が小さいのは静岡市で人口704989人である[9]。加えて、神戸市は6番目に人口が多く1537272人であるため、両端の間である人口が2691185人の大阪市、人口が1082159人の仙台市を対象に加え、合計5つの横浜市、大阪市、神戸市、仙台市、静岡市を比較することとした。なお、調査対象は各市内全域の公共図書館とし、2021

9　総務省 平成27年国勢調査
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/shitei_toshi-ichiran.html【2021年12月21日最終閲覧】

年 12 月 22 日現在のものである。

表３　５つの政令指定都市の公共図書館における新型コロナワクチンの関連書籍所蔵状況（新型コロナワクチン反対派の関連書籍所蔵状況「あり」のみ太字で表記）

書籍名	横浜市[10]	大阪市[11]	神戸市[12]	仙台市[13]	静岡市[14]
新型コロナの正体 日本はワクチン戦争に勝てるか!?	なし	あり	あり	あり	なし
ウイルス VS 人類	あり	あり	あり	あり	あり
コロナと 5G	あり	あり	あり	あり	あり
どうする!? 感染爆発‼: 日本はワクチン戦略を確立せよ!	なし	あり	あり	あり	なし
コロナと陰謀	なし	あり	あり	なし	なし
本当はこわくない新型コロナウイルス	あり	あり	あり	あり	あり
PCR は、RNA ウイルスの検査に使ってはならない	なし	あり	あり	あり	なし

10　横浜市立図書館蔵書検索ページ
https://opac.lib.city.yokohama.lg.jp/opac/OPP0200【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
11　大阪市立図書館蔵書検索
https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=266【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
12　神戸市図書館情報ネットワーク 蔵書検索システム
https://www.lib.city.kobe.jp/opac/opacs/find_books【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
13　仙台市図書館 資料の検索・予約
https://lib-www.smt.city.sendai.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
14　静岡市立図書館 本・資料を探す
https://www.toshokan.city.shizuoka.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】

ウイルスは［ばら撒き］の歴史	なし	あり	なし	なし	なし
新型コロナとワクチン　知らないと不都合な真実	あり	あり	あり	あり	あり
新型コロナ［ばら撒き］徹底追跡	なし	なし	あり	なし	なし
コロナとワクチン	なし	あり	あり	なし	なし
北の学校から PCナイ検査が始まった	なし	あり	なし	なし	なし
新型コロナワクチンを打つ前に読む本	あり	あり	あり	あり	あり
ワクチン SOS!	なし	なし	あり	なし	なし
新型コロナウイルスワクチンのすべてがわかる本	なし	なし	あり	なし	なし
打つな！飲むな！死ぬゾ‼	なし	あり	あり	なし	なし
コロナ自粛の大罪	あり	あり	あり	あり	なし
新型コロナとワクチンのひみつ	あり	あり	あり	あり	あり
今だから知るべき！ワクチンの真実	あり	あり	あり	あり	なし
新型コロナワクチン打つ前に知っておきたいこと	なし	あり	あり	なし	なし
パンデミックに突入した地球	なし	なし	なし	なし	なし

新型コロナワクチン Q&A100	なし	あり	あり	あり	あり
新型コロナワクチン接種前からの新習慣「命の野菜スープ」	なし	なし	なし	なし	なし
PCR とコロナと刷り込み	なし	なし	あり	なし	なし
新型コロナワクチンを打つ前に知ってほしい大切なこと	あり	あり	あり	なし	あり
新型コロナが本当にこわくなくなる本	あり	あり	あり	あり	あり
新型コロナワクチン：遺伝子ワクチンによるパンデミックの克服	あり	あり	あり	あり	あり
新型コロナワクチン その実像と問題点	あり	あり	あり	なし	なし
新型コロナワクチンの正体	あり	あり	あり	あり	あり
新型コロナウイルス感染症と自治体の攻防	あり	あり	あり	なし	あり
もうだまされない新型コロナの大誤解	あり	あり	あり	あり	あり
コロナワクチン幻想を切る	なし	なし	あり	あり	なし

秘密率99% コロナと猛毒ワクチン	なし	なし	なし	なし	なし
コロナ生活、ワクチンと感染予防で最も大切なこと	なし	なし	あり	なし	なし
新型コロナワクチン 副作用が出る人、出ない人	あり	あり	あり	あり	あり
世界の黒幕「悪魔のシナリオ」	なし	あり	なし	なし	なし
コロナの副作用!	あり	あり	あり	あり	なし
新型コロナと安倍独裁政権	なし	あり	あり	なし	なし
新型コロナワクチンの闇	なし	なし	なし	なし	なし
コロナワクチンの恐ろしさ	なし	あり	あり	あり	なし
コロナワクチン、被害症例集	なし	なし	あり	なし	なし
コロナとワクチン 歴史上最大の嘘と詐欺1	なし	なし	なし	なし	なし
「新型コロナワクチン」とウイルス変異株	あり	あり	あり	なし	あり
大丈夫か、新型ワクチン	あり	あり	あり	なし	なし
新型コロナワクチン 本当の「真実」	あり	あり	あり	あり	あり

コロナワクチンのひみつ	なし	なし	あり	なし	なし
コロナとワクチン　歴史上最大の嘘と詐欺2	なし	なし	なし	なし	なし
ワクチンで殺される	なし	あり	あり	なし	なし
コロナとワクチンの全貌	あり	あり	あり	あり	なし
コロナワクチン3回目打ちますか？	あり	あり	あり	なし	あり
コロナのウソとワクチンの真実	あり	あり	あり	なし	なし
コロナは幻	なし	なし	あり	なし	なし
ワクチンよりも大切なこと	あり	あり	あり	あり	なし
文句はあるか!?	なし	あり	あり	なし	なし
所蔵「あり」の合計数	24	39	45	22	17
新型コロナワクチン反対派の書籍合計数	4	15	18	5	2

新型コロナワクチンの関連書籍54冊のうち、最も所蔵数が多いのは神戸市で45冊、最も少ないのは静岡市で17冊であった。また、大阪市は2番目に多く39冊を所蔵しているため、関西圏の公共図書館には他圏域に比べ、新型コロナワクチンの関連書籍が比較的多く所蔵されている傾向があると言うことができるだろう。

一方で、横浜市は24冊の所蔵数であり、半数にも満たないため、人口が多い政令指定都市ほど新型コロナワクチンの関連書籍が多く所蔵されている

という相関関係があると結論づけることはできなさそうである。所蔵数が最も多い神戸市を頂点とし、それ以上に人口が増加しても減少しても、所蔵数が減少する傾向があるという点は非常に興味深い。

新型コロナワクチン反対派の書籍合計数の傾向は、上述した新型コロナワクチンの関連書籍所蔵合計数の傾向と殆ど変わらないが、ここでは新型コロナワクチンの関連書籍所蔵合計数に対する新型コロナワクチン反対派の書籍合計数の相対的な割合に注目する。各市の新型コロナワクチンの関連書籍所蔵合計数のうち、どれほどの割合が新型コロナワクチン反対派の書籍であるかを表す数値は、横浜市が約 16.7%、大阪市が約 38.4%、神戸市が 40%、仙台市が約 22.7%、静岡市が約 11.8% であり、依然として神戸市が最も多く、静岡市が最も少ない結果となった。この結果から分かることとしては、神戸市は静岡市の約 4 倍弱新型コロナワクチン反対派の書籍を所蔵しやすい傾向があるということである。逆説的に言えば、静岡市は新型コロナワクチンの関連書籍を吟味した上で、新型コロナワクチン反対派の書籍を公共図書館に所蔵しない傾向があると言うこともできる。

公共図書館に所蔵されている新型コロナワクチン反対派の書籍数は、地域によって大きく異なるということが明らかになったが、その所蔵数が増えれば増えるほどその地域に居住する人々が新型コロナワクチン反対派の書籍を手に取る機会は多くなるだろう。2021 年 9 月 28 日に日本テレビの「news zero」で放送されたものには、自ら新型コロナワクチンに関連する書籍をもとに情報収拾をしていた 70 代の女性が、それらに記載されていた新型コロナワクチンの危険性を煽る情報を信じ込み、接種を拒否したところ、その後新型コロナウイルス感染症に罹患したという内容の報道があった[15]。併せて、新型コロナワクチンに関する誤った情報を鵜呑みにし、接種を見送った結果、新型コロナウイルス感染症に罹患して亡くなった方々も少なくないと述べられており、新型コロナワクチン反対派の書籍の危険性が指摘されていた。

15 「【反ワクチン】“根拠のない情報”で　20 年以上暮らした夫婦に別れ」『日本テレビ、Youtube』【2021 年 9 月 29 日放送】
https://www.youtube.com/watch?v=3RNF3CH1zi8【2021 年 10 月 29 日最終閲覧】

第 2 節　新型コロナワクチン反対派の書籍に関する特徴と傾向

第 2 節では、新型コロナワクチン反対派の書籍の大多数を占める出版社であるヒカルランドと共栄書房に主に注目し、創立の過程や出版社の特徴、傾向などについて整理、検討する。また、出版社のオカルトやスピリチュアルとの繋がりも指摘する。まず新型コロナワクチン反対派の書籍の大多数を占めるヒカルランドから整理していく。

ヒカルランドは、主に徳間書店の「超知ライブラリー」シリーズ、「超☆スピ」シリーズ、「5 次元文庫」シリーズや、さくらももこ氏の関連書籍を輩出してきた編集者である石井健資氏と、その外部スタッフが中心となり創立された出版社である。ヒカルランドのホームページ[16]には、さくらももこ氏の追悼文が中央に書かれているのに加え、ヒカルランド創立当初のことが詳細に記載されている。国民的漫画・アニメの『ちびまる子ちゃん』を描いた作者であるさくらももこ氏は、実はスピリチュアルへの造詣が深いという側面があり、ヒカルランドの創立に関わっていた[17]。2010 年に石井健資氏が徳間書店を退社し、新しい会社の設立をさくらももこ氏に相談すると、「いいわね。会社の名前は？」と聞かれたという。石井健資氏は三男の名前の由来でメールアドレスにも使用していた「ヒカルランド」と返すと、1 週間もしないうちにさくらももこ氏自らが描いた会社のロゴマークが送られてきた。ヒカルランドのホームページには、この会社のロゴマークが葵の御紋のように効き、難しいと言われる取次からも承認が下り全てが順調に進んだ、と書かれている。なお、このロゴマークは現在でも使用されており、ヒカルランドのホームページや書籍などの随所に見られる。また、石井健資氏はさ

16　ヒカルランド ホームページ
https://www.hikaruland.co.jp【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】

17 「さくらももこさんの「スピリチュアル」秘話　親交あった精神世界分野の出版社社長に聞く」『zakzak by 夕刊フジ』2018 年 8 月 30 日
https://www.zakzak.co.jp/ent/news/180830/ent1808308184-n1.html【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】

くらももこ氏のスピリチュアル分野への関心の深さについて、自分よりも多くの知識を持っており、死後の世界についても詳しい方だった、と語っている[18]。これらを踏まえると、ヒカルランドは創立当初からスピリチュアルに根ざしていた、と言うことができるだろう。

こうして創立されたヒカルランドであるが、ホームページのグッズ販売や、書籍の末尾に載っているオカルト商品の販売情報にはある種の奇妙さを覚える。商品はスピリチュアルなものから健康グッズや美容器具などの多岐に渡り、その金額は非常に高額である。中には、剣や石鏡、量子水整水器など、金額が100万円を超えるものまで販売されている。この量子水整水器を製造している、ウエルネスの「Rebirth（リバース）」の商品ページ[19]では、大々的に特許取得済みや公的認証を取得しているという旨の記載を確認でき、大手メーカーとは程遠い会社として、あからさまに権威に訴えている感が見て取れる。ここで重要なのは、特許は必ずしも科学的正しさを証明するものではないということである。特許法第２条第１項では、発明は「自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度のもの」[20]と定義されており、特許は一連の審査を経ることで取得することができる。加えて、特許の審査自体では、追試などの実験が行われることもない。ウエルネスの「Rebirth（リバース）」の商品ページに記載されている特許の一つに、公益社団法人日本水道協会からの認証が写真と共に載せられているが、これは量子水整水器が水道の耐圧性能や浸出性能などの基準をクリアしたものであるという証明に過ぎず、量子水整水器の科学的正しさが担保されているわけではない。

また、国立情報学研究所のCiNii Articlesにて「量子水」のキーワードで

---

18 「さくらももこさん 治療法求め全国へ…友人語るがん模索の日々」『exciteニュース』2018年9月4日
https://www.excite.co.jp/news/article/Jisin_1661617/【2021年12月23日最終閲覧】

19 ウエルネス「Rebirth（リバース）」商品ページ
http://wellness7.co.jp/detail/rebirth.php【2021年12月23日最終閲覧】

20 特許法 第２条第１項
https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=334AC0000000121【2021年12月23日最終閲覧】

検索をすると、「量子水素」の2件を除いた2件が該当する[21]。この2件の論文を掲載している雑誌の発行元は、日本補完代替医療学会誌とエルネオス出版社であるが、日本補完代替医療学会は「代替医療」の名が付いている点や、論文に関する引用が一つも無い点など、科学的根拠に基づいた論文を期待することが難しい。エルネオス出版社も同様に、論文に関する引用が無いため、論文の信頼度が低いものになっている。加えて、エルネオスのホームページ[22]によると、エルネオス出版社は2020年9月を最後に休刊になっており、株式会社エルネオス出版社自体も2020年10月に閉鎖されている。こうした不可解な点が複数存在することで、量子水整水器の商品としての価値や妥当性が必ずしも失われるわけではないが、量子水整水器や磁気活水器などを取り扱っている会社にこうした傾向が見られやすく、胡散臭い疑似科学で溢れかえっているのは事実である。

さらに、ウエルネスの「Rebirth（リバース）」の商品ページに記載されている説明は、物理や化学、工学などでは普段用いられない用語を多用することで、定義を曖昧なものにしており、科学の枠組みで検証することができない。こうした類の製品の特徴は、論駁不可能な論理構造をとる陰謀論と共通する性質があるのではないだろうか。

以上を踏まえ、ヒカルランドから出版されている新型コロナワクチンに関蓮する書籍の18冊のうち17冊が新型コロナワクチン反対派であることや、ヒカルランドの書籍の末尾やホームページ上にて販売されている情報商材や高額なオカルト商品を考慮すると、ヒカルランドは、元々スピリチュアルやオカルトの題材を主に扱う出版社であり、その延長線上で近年、陰謀論の体裁をとる新型コロナワクチン反対派の書籍を多く刊行し始めたのだと考えることができるだろう。

次に、共栄書房は花伝社の書籍の発売元であり、同一経営出版社である。

21　CiNii Articles「量子水」検索結果
https://ci.nii.ac.jp/search?q=量子水&range=0&count=20&sortorder=1&type=0【2021年12月23日最終閲覧】

22　エルネオス出版社 ホームページ
http://www.elneos.jp【2021年12月23日最終閲覧】

そのため、花伝社が編集し刊行した書籍を共栄書房が発売するという形を取っている。花伝社のホームページ[23]では、花伝社創立当初のことがより詳細に記載されている。花伝社は「自由な発想で同時代をとらえる」を合言葉に、人文・社会・法律・芸術・実務書など、幅広い分野での出版を目指し、1985年10月に現平田勝社長とその友人らの支援によって創立された。創立当時は開業資金が殆ど無く、必要最小限の体制であったため、正社員やフルタイムで働く人がおらず、主婦のパートが営業をしたり事前注文を取ったりと中心になることで、花伝社の骨格を作り上げた。平田勝社長自身が過去に学生運動に明け暮れていた時期もあったため、花伝社は創立当初から、政党政派に囚われずに書籍を刊行しよう、という自由な出版社を目標にしている。こうした経緯もあり、花伝社から出版された書籍は現在までに400冊を超えている。平田勝社長は、「長い学生運動の時代も、時代精神が自分に乗り移ってきたような感じを持っておりましたが、花伝社が出してきた400冊の本にも、全部とは言いませんが時代精神が乗り移り、それなりに時代を刻み映しだしているのではないかと自負しております」とコメントを残している[24]。

近年は多くの疑似科学が広がっており、その伝播力は無視できない程のものである。インチキ療法やトンデモ療法と非難されることの多い補完代替療法は、医学的な根拠に乏しいものが多い。それだけならまだしも、これらの補完代替療法は人々に無駄な努力を促し、治療機会を逃させた挙句、健康を損なわせることもある。具体的には、がん治療を否定する独自理論や、ワクチン有害論、ホメオパシー系の代替医療や超ミネラル水といった健康食品などが挙げられる。こうした補完代替療法は、近代医学の有効性を否定する一方で、独自の理論に高い治療効果があると押し出す傾向がある。また、「こうした補完代替療法を認めると、医療関係者が儲からなくなるから隠している」と主張されることがしばしばあるが、その割には補完代替療法の方が高額になる場合が多い。主要な学会では認められていない波動医学やホメオパ

23　花伝社 ホームページ
http://www.kadensha.net【2021年12月23日最終閲覧】

24　花伝社のあゆみ その4　花伝社創立25周年にあたって
http://www.kadensha.net/info_ayumi04.html【2021年12月23日最終閲覧】

シーといった補完代替療法は、その万能さをアピールし、難病にも治療効果があると謳うが、こうした言葉の並びのパターンに普段から慣れておくことも、疑似科学に騙されないための１つの重要な手段であるだろう。

新型コロナワクチン反対派の書籍のうち、共栄書房から出版されている書籍は３冊、花伝社からは１冊であった。2021 年 11 月 5 日現在、共栄書房のホームページ[25]にはトップの新刊案内にて船瀬俊介『ワクチンで殺される』（共栄書房、2021 年）が大きく掲載されている。また、新刊案内にて紹介されている書籍 54 冊のうち、陰謀関連の書籍が 18 冊、健康関連の書籍が 10 冊、波動医学に関する書籍が３冊、その他の書籍が 23 冊であった。この波動医学に関する書籍は３冊とも船瀬俊介氏によって執筆されたものであった。これらを踏まえると、共栄書房から出版される書籍の傾向をある程度推測することができるのではないだろうか。平田勝社長が「自由な発想で同時代をとらえる」を合言葉にし、出版社の経営を進めたが、「自由な発想」という観点から、船瀬俊介氏に代表される新型コロナワクチン反対派に関する書籍や、疑似科学に関する書籍が生まれる素地が徐々に育まれたのではないだろうか。

最後に、新型コロナワクチン反対派の書籍の代表的なものを、ヒカルランドと共栄書房からそれぞれ１冊ずつ取り上げ、簡単に紹介しておく。ヒカルランドから刊行されている飛鳥昭雄『打つな！飲むな！死ぬぞ！』（ヒカルランド、2021 年）で主に述べられているのは、マイクロソフトの創業者であるビル・ゲイツはイルミナティの傀儡であり、人口削減のために新型コロナウイルスをばら撒き、溶連菌感染症を発症させ数年後に身体を溶解させる新型コロナワクチンを人々に接種させているという旨の内容である。2021 年８月３日、マイクロソフトは９月から米国内のすべての社屋に立ち入る従業員やゲストに、ワクチンの接種証明の提示を義務付けると発表した[26]。ビ

---

25 共栄書房 ホームページ
http://www.kyoeishobo.net【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】

26 「マイクロソフトもワクチンを義務化、グーグルや FB らに追従」『Forbes JAPAN』2021 年８月４日
https://forbesjapan.com/articles/detail/42681【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】

ル・ゲイツはマイクロソフト株式を中心とした資産を保有する世界的な大富豪である。新型コロナワクチンの黒幕がビル・ゲイツだとするならば、何故マイクロソフトは自らの従業員やゲスト全員に新型コロナワクチンの接種を義務付けたのだろうか。マイクロソフトの従業員やゲストが新型コロナワクチンを接種して数年後に全員死亡するのであるならば、ビル・ゲイツの資産は致命的な打撃を受けてしまうため、常識的に考えると自らの従業員やゲストに新型コロナワクチンの接種はさせないだろう。

共栄書房から刊行されている船瀬俊介『コロナとワクチン』（共栄書房、2021年）で述べられているのは、新型コロナウイルス感染症は元々存在せず、インフルエンザ患者がPCR検査の偽陽性によって新型コロナウイルス感染症患者として数えられている、遺伝子ワクチンを接種すると人間は遺伝子組み替え生物になる、新型コロナワクチンにはマイクロチップが埋め込まれている、といった旨の内容である。文章の体裁は感情的なものであり、根拠のないことを断言する形をとっているため、全く論理的とは程遠いものであり、全9章の殆どが同じ内容の繰り返しである。

こうした陰謀論やネガティブな思考を煽る内容の書籍は、かなりの部数が販売されるため、著者は印税や講演会での講演料などで儲かるだろう。これは人々の不安を煽り、怪しい健康グッズや美容器具を売りつける商法と同じである。新型コロナウイルスへの世情や施策に反対のスタンスをとることで、こうした一部の人は儲かり、1つのビジネスモデルになっているのである。このような作家が自由に出版できるということの異常さを改めて痛感させられる。

第2章　インターネットという媒体

第2章では、インターネット上の新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動について取り上げる。第1節ではこれらの活動が発足した背景や要因を整理、検討する。第2節ではこれらの活動に参加する人々の特徴や傾向をより深く分析していく。

第1節　新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動

インターネット上では新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動が未だに数多く見受けられ、一般社団法人 Social Good が運営する Voice[27] という Web サービス上では、多くの署名、募金活動が募集されている。本論文では新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動の中でも、特に Voice 上での署名、募金活動に注目し、これらの活動が発足した背景や要因、またこれらの活動を先導する人々について整理する。

Voice とは署名と募金が同時にできる日本唯一のサイトであり、2020 年 7 月 27 日に初めてリリースされた[28]。一般的な署名サイトでは、署名活動の主催者が同時に募金を集めることができないため、Voice の最大の特徴とは、簡単に署名と募金を一緒に集められるという点である。このサービス立ち上げの背景には代表者である秋田英明氏の強い思いが込められており、同氏は世の中の様々な社会問題を、皆で一丸となることで解決へと導き、さらには社会の仕組みそのものを変えていくことができるという旨のメッセージを Voice のホームページ上の代表メッセージ[29]にて述べている。このサービスが開始して以降、2021 年 7 月には累計訪問ユーザー数が 30 万人を突破し、署名者数は 10 万人を記録した。また 2022 年 1 月 11 日現在、累計署名者数は 20 万人を突破している。

Voice での署名活動は、主に新型コロナワクチン接種の停止やマスク着用強要の自由化、新型コロナウイルス感染症に関する科学的根拠の提示等を求める活動が多い。Voice 側はこうした誤情報が含まれる可能性のある署名活

27　Voice ホームページ
https://voice.charity【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】

28 「日本初！社会に声を上げるために「声」と「資金」はここで集める！「募金」が集まる署名サイト「Voice(ボイス)」がオープン」『アットプレス』2020 年 7 月 30 日
https://www.atpress.ne.jp/news/219443【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

29　Voice 代表メッセージ
https://voice.charity/informations/message【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

動に対して、「署名活動の詳細内容につきまして、目的が明らかに署名集めではなく、偽情報を拡散させることのような活動でない限り、事実と異なる情報が掲載されている＝削除対象であるとは考えてございません。署名サイトは意見サイトであり、自分と同じ考えの声を署名として集めることが目的のサイトです。その考えや意見自体に対して絶対的に正しい科学的根拠や論理性があることを私共としては求めてございません。」という声明を発表している[30]。こうしたVoice側のスタンスもあってか、2021年11月3日現在、Voiceのホームページ上にて公開されている18の署名、募金活動のうち、実に13の活動が新型コロナウイルス感染症に関連するものであった。またそれら13の活動うち、新型コロナワクチン接種の停止を求める活動が8つ、マスク着用強要の自由化を求める活動が2つ、新型コロナウイルス感染症に関する科学的根拠の提示等を求める活動が3つであった。署名者数が1万名を超える活動は4つあり、募金額はいずれも100万円を超えている。本論文では、これらの活動の中でも特徴的なものをいくつか取り上げ、整理、検討することにする。

2021年11月2日現在、Voice上で署名数と募金額が共に最も多い活動は『【10万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』[31]という活動であり、署名者数は77178人、募金額は2170万円を超えている。この活動を主催するのは岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会であり、厚生労働省へ署名を提出することを目的として、2021年7月2日に初めて掲示された活動である。岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会とは、岡山市や倉敷市などを中心に、新型コロナウイルス感染症対策について、市民と専門家の意見をまとめ、行政に提案する有志の市民グループである[32]。岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会の発起人は、

30　Voice ヒント＆ガイド その他
https://voice.charity/informations/guide【2021年12月26日最終閲覧】

31　Voice「【10万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。」
https://voice.charity/events/112【2021年12月26日最終閲覧】

32　「岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会」『PR TIMES』2021年12月14日
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/91694【2021年12月26日最終閲覧】

NPO 法人こうのさとの代表を務める片岡徹也氏であり、メンバーには多数の医師や議員、一般家庭の親などが参加しており、2021 年 5 月に設立された。

しかし、この署名、募金活動にはいくつか不可解な点が見受けられる。当初、この活動は 2021 年 7 月 14 日に終了予定であった。それが 8 月 31 日まで、9 月 30 日まで、そして 12 月 31 日までと、署名、募金活動期間が頻繁に延長されている。Voice 上での署名、募金活動の立ち上げは基本無料であるが、募金が発生した際には、募金額のうちシステム利用料として 25％と、決済代行手数料として 3.6％を Voice 側に支払う仕組みになっている。そのため、Voice の運営側は、利用料と手数料を最も多く搾取することのできる募金額の最も多いこの署名、募金活動を終了させたくない、と考えているのではないか、と私は推測する。また、この署名、募金活動の 2021 年 9 月 3 日の経過報告[33]によると、長崎新聞や山陽新聞、北海道新聞などがこの署名、募金活動を記事として取り上げており、日本最大の新聞社である読売新聞も 2021 年 9 月 3 日の全国紙朝刊に意見広告としてこの署名、募金活動を大々的に掲載した、とのことである。これらを踏まえると、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動が、経済的な観点から利用されていることが分かるだろう。

2021 年 9 月 30 日、大分県臼杵市議会にて鼻を出したままマスクを着用する若林純一市議会議員に対して、辞職勧告決議案が可決されるという出来事が起こった[34]。同氏は臼杵市内の中学校周辺や駅で、マスクを着けずに新型コロナワクチンの接種停止を求めるチラシを配布したことで、市民から臼杵市議会に対して多数の抗議が寄せられていた。さらに、同氏が臼杵市内の中学校周辺や駅で配布したチラシは、『【10 万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』の署名、募金活動のものであった[35]。

33　Voice 経過報告「9 月 3 日（金）読売新聞 全国版（809 万部配布）に意見広告掲載」https://voice.charity/events/112/reports/328【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

34 「マスクせず、接種停止求めるチラシを中学生らに配布…市議を厳重注意に」『読売新聞』2021 年 9 月 15 日

35 「鼻出しマスクで議員辞職勧告「臼杵市議」の正体　54 万円集めて新聞に出した意見広告の中身」『デイリー新潮』2021 年 10 月 6 日 https://www.dailyshincho.jp/article/2021/10061102/?all=1&page=1【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

同氏はSNSプラットフォームであるYouTubeやFacebookなどで、「あすなろの会」という名義で寄附金を募り、集まった54万円の募金を元に活動を行ったと報告している。しかし、寄附金の振込先が同氏の個人口座となっていることや、「あすなろの会」が政治団体としての届出がされていないことなどから、政治資金規正法第21条の2（公職の候補者の政治活動に関する寄附の禁止）に違反する疑いが持たれている。2021年9月10日には、一般社団法人臼杵市医師会、中野五郎現臼杵市長、臼杵市教育委員会などが同氏の議員活動に対する厳正な対処を臼杵市議会議長に要求する声明を発表している[36]。さらに、『【10万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』の署名、募金活動に記載されている参考文献や引用文献には、新型コロナワクチン反対派としてよく知られている医師や議員が含まれており、第1章の新型コロナワクチン反対派の書籍で取り上げた岡田正彦氏や高橋徳氏なども含まれている。

そして、この署名、募金活動を前面に出して訴え掛けているのは、かねしろクリニックの金城信雄氏である。かねしろクリニックのホームページ[37]は、PCR検査や新型コロナワクチンに反対的な内容が目立つ。新型コロナワクチンに関する診療や相談を希望する場合は、診察、相談料として1万円程かかると表記されていたり、偽陽性が多いとしてPCR検査を取りやめ、抗原定性検査を自費で行っているという報告があったりする。ホームページの新着情報では、同氏が新型コロナウイルス感染症に関する数多くの交流会や勉強会に参加しているという報告が散見され、新型コロナワクチン反対派の意見の内容も多数見受けられる。『【10万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』の署名、募金活動や、他の新型コロナウイルス感染症に関する活動などを時折引用し、積極的な署名や募金を呼びかけている投稿も多く見られる。さらにTwitter上では、同氏がAmazonの職域接種会場にて、新型コロナワクチン接種希望来場者に対して、「ワクチ

36　若林純一の活動日記 2021年10月19日火曜日
http://usuki.blogspot.com/2021/10/【2021年12月26日最終閲覧】
37　かねしろクリニック ホームページ
https://www.kaneshiro-honest-clinic.com【2021年12月26日最終閲覧】

ンで死亡者が出ている」などと話し接種を止めるよう説得していた、との旨の内容の他の人からの報告ツイート[38]が約7000いいね、7000リツイートを記録しており、Twitter上で注目を集めている。Twitterのかねしろクリニックの公式アカウント[39]は、2021年6月30日のツイート[40]にて、新型コロナワクチンの接種を阻止するために、人々に直接説明することでワクチンの接種を見合わせてもらえるかもしれない、との旨の内容を投稿しており、先述した他の人から報告されたツイート内容の信憑性が高まっている。これらを踏まえると、署名、募金活動に参加する際は、その活動を支援、応援している団体や人物を、あらかじめ調べておく必要があるだろう。

2021年11月12日現在、Voice上で署名数と募金額が2番目に多い活動は『厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである。』[41]（略称:WeRise提言）という活動であり、署名者数は17593人、募金額は885万円を超えている。この活動を主催するのはWeRise実行委員会であり、厚生労働省へ署名を提出することを目的として2020年12月14日から2021年2月28日までの期間開催された活動である。WeRise実行委員会とは、コロナパンデミックによって今までの生活様式が塗り替えられようとしている社会を憂慮し、生活を元通りに戻すために、イシキカイカク株式会社の代表取締役である神谷宗幣氏や、牧師作家である石井希尚氏、ダンサーである石井久美子氏、株式会社朱座の役員である堤雄作氏らが中心となり創

38　かねしろクリニック 報告ツイート
https://twitter.com/kobaryu5000/status/1412340657809543169【2021年12月26日最終閲覧】

39　かねしろクリニック Twitter公式アカウント
https://twitter.com/UvyzfjMitbDAKrQ【2021年12月26日最終閲覧】

40　かねしろクリニック 2021年6月30日 ツイート
https://twitter.com/kobaryu5000/status/1412429716225593346【2021年12月26日最終閲覧】

41Voice「厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである。」
https://voice.charity/events/15【2021年12月26日最終閲覧

設された組織である。WeRise 実行委員会は、DJ や音楽、料理を楽しめる空間であるキックバックカフェを都内で運営したり、新型コロナウイルス感染症に関する情報を共有するイベントを定期的に開催したりしており、こうした活動の一環として WeRise 提言が宣言されたという経緯がある。

また、WeRise 実行委員会によって開催されるイベントには、多数の医師や議員などがゲストとして出演しており、第 1 章の新型コロナワクチン反対派の書籍で取り上げた大橋眞氏や内海聡氏、井上正康氏なども含まれている。WeRise の公式サイト[42]では、イベントチケットや過去のイベントのアーカイブ動画、リモート講演の視聴利権などが販売されており、こうした新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動が、お金を稼ぐ 1 つの手段として利用されていることが分かる。

徳島大学名誉教授である大橋眞氏は、こうした新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動に積極的に参加していることに加え、自らの新型コロナウイルス感染症に関する考えを Youtube 等の SNS プラットフォーム上で発信していることから、徳島大学へ多くの苦情が寄せられていると徳島大学が正式に発表している[43]。徳島大学はこの件に関して、既に雇用関係にないこと及び表現の自由の観点から、徳島大学が大橋眞氏への苦情について対応することはできない、とコメントしている。

加えて、WeRise 実行委員会が開催するイベントには、現大阪府泉大津市長である南出賢一氏や京都大学大学院工学研究科教授の藤井聡氏が出演している。南方賢一氏は WeRise 提言の活動に参加しているのに加えて、自身が代表発起人となり『【こどもへのワクチン勧奨停止】【正確な情報の提供】を政府に求め、コロナワクチンからこども達を守ろう。』[44]という署名、募金活動を行なっている（2021 年 9 月 9 日終了）。この活動は 2021 年 11 月 21

42　WeRise 公式サイト
https://www.werise.tokyo【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

43　徳島大学「本学名誉教授　大橋眞氏の活動に対する苦情について」
https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/22379.html【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

44　Voice「【こどもへのワクチン勧奨停止】【正確な情報の提供】を政府に求め、コロナワクチンからこども達を守ろう。」
https://voice.charity/events/133【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

日現在、署名数が 13133 名、募金額が 456 万円を超えており、署名者数は Voice 上で 4 番目、募金額は 3 番目に多い活動になっている。また 2020 年 12 月 5 日、藤井聡氏は WeRse 実行委員会が開催するキックバックカフェでのイベントにゲストとして出演した際、「コロナ、ここにあったら飲んでも構わないんですよ、いやホンマに。」と発言しつつ、何かを掴んで飲むような仕草をしたため、この言動が Twitter 上で波紋を呼んだ[45]。公人や知識人が世論とは違った新たな視点を提供しているとはいえ、発する言葉の影響力を鑑みても、それ以上に多くの人々にマイナスの影響を与えてしまっているのではないだろうか。

また、WeRise 提言にはいくつか不可解な点が見受けられる。まず、この署名、募金活動は 2021 年 2 月 28 日に終了しているにも関わらず、厚生労働省へ署名者名簿を提出したのは 2021 年 11 月 9 日であるという点である。活動終了から署名簿提出までは約 9 ヶ月期間が空いており、その間に新型コロナウイルス感染症は収束しつつある。つまり、集められた署名はもはや鮮度のないものであり、世間の新型コロナウイルス感染症に対する関心も薄らいでいる、ということである。また、この署名、募金活動の 2021 年 10 月 31 日の経過報告[46]によると、『厚労省より、10 月 12 日（火）の第 1 回口頭弁論にてはじまりました「武漢ウィルスワクチン特例承認取消等請求事件」の裁判で、原告団に WeRise 共同声明に連名しております大橋眞先生がいるため、裁判に影響するので署名の受け取りができない、という回答がございました。これを受けて、代議士を通して再度の交渉をした結果、対面ではなく書類での受け渡しにて、受領の了承を得られました。』と記載されている。この経過報告以前の報告では、対面での署名者名簿の提出に拘るとの旨の報告が多く見られていたが、結局は対面なしの書類のみでの受け渡しということで妥協している。2021 年 11 月 12 日現在、募金として集まった 885 万円

45　Twitter 検索「藤井聡 コロナ」
https://twitter.com/search?q= 藤井聡 %20 コロナ &src=typed_query【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

46　Voice 経過報告「署名受け渡し方法の変更について」
https://voice.charity/events/15/reports/455【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

を超える額の使い道は未だに明示されておらず、募金者に対する明確な説明もないままである。

また、Voice 上のこの活動ページには、合わせて 7 人の医師や歯科医、大学教授などの写真がその経歴と共に載せられている。この 7 人は新型コロナウイルス感染症に限らず、その他の話題に関しても度々名前が挙げられる方々であり、その 1 人である内海聡氏は、新型コロナワクチン接種に反対する内容の書籍が過去に Amazon 売れ筋ランキングでトップ 10 入りをしていた（2021 年 7 月 13 日確認）。首相官邸の新型コロナワクチンに関する公表[47]によると、新型コロナワクチンを接種しない人々は少数派ではあるものの、全人口の約 1 ～ 2 割存在している。そのため、この層をターゲットとし、そのうちの何人かに 1 人が 1 冊 1000 円前後の書籍を購入することで、ヒット作が生まれるのではないだろうか。昨今、こうした新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動が、1 つのビジネスモデルになっている点が問題視され、記事としても度々取り上げられている[48]が、WeRise 提言に参加しているメンバー達も、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動を巧みに利用することによって、収入を得ているのではないだろうか。

WeRise 提言に明記されている、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを比較説明している箇所について、『新型コロナウイルスの PCR 検査の実施件数は、4,050,466 件（2020/12/1 現在）、新型コロナウイルス感染症の感染者（PCR 検査陽性者）148,694 人のうち死亡者は 2,139 人、入院治療等を要する者は 21,056 人、退院又は療養解除となった者は 125,470 人、インフルエンザの患者は毎年推定 1,000 万人のうち 2019 年度の感染者数 728.5 万人、死亡者数 3,325 人』という数字を挙げた上で、『新型コロナウイルスによる死亡者とされる人数は、インフルエンザより少なく、2/3 程度。（中略）

47　首相官邸「新型コロナワクチンについて」
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】

48 「反ワクチン本の驚くべき「テキトー」さ」『Yahoo! ニュース』2021 年 11 月 16 日
https://news.yahoo.co.jp/articles/510cebc2ea4ce36d7a33d4e4249873384f24d415 2021 年 12 月 29 日最終閲覧】

インフルエンザに関して言えば、毎年2000万人がワクチンを接種するにもかかわらず、非常に発症が少なかった2019年でさえ、新型コロナウイルス感染症の約50倍の、728.5万人もの人々が感染し、新型コロナウイルス感染症の死亡者を超える3,325人の方々が亡くなっています。それでも私たちは、特に騒ぎ立てることもなく普通に生活してきました。』と説明している。

ここで挙げられている数字をもとにすると、新型コロナウイルス感染症の感染者148694人のうち死亡者数が2139人であり、死亡率は約1.43%である。また、インフルエンザの感染者数728.5万人のうち死亡者数が3325人であり、死亡率は約0.04%である。この事実に基づかず、文中では死亡率を考慮せず絶対数のみを元に比較することで、『新型コロナウイルスによる死亡者とされる人数は、インフルエンザより少なく、2/3程度。』と述べているのである。死亡率の割合で比較すると、新型コロナウイルス感染症はインフルエンザの約35倍である。文中では『新型コロナウイルス感染症の約50倍の、728.5万人もの人々が感染し』と述べているにも関わらず、インフルエンザが新型コロナウイルス感染症の約50倍感染しやすいということは、全く考慮していない比較になっているのである。こうした数字を並べた上で、新型コロナウイルス感染症はインフルエンザより死亡者数が少ないため、『私たちがとりたてて深刻な死の恐怖にさらされている事実はない』と赤字で主張しているのである。この新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを比較説明している文章は、そもそも比較対象の前提が成り立っていないため、論理が破綻した誤った情報であると言えるのではないだろうか。

WeRise実行委員会が開催するイベントには、HEAVENESEという和楽器と洋楽器を組み合わせた編成で活動する音楽一座が度々ゲストとして出演している。このバンドは音楽と教育を一体にした『大和魂エデュテイメント』を打ち出しており、外務省後援のもと、音楽ライブをアメリカやイスラエル、アフリカなどの国内外で開催してきたグループである。しかし、このグループに関してもいくつか不可解な点が見受けられる。まず、HEAVENESEのホームページ[49]では、HEAVENESEが開催するイベントであるHEVENESE BRIDGEの説明として、『HEAVENESE・・・これ

49　HEAVENESEホームページ
https://heavenese.jp/index_j.html【2021年12月29日最終閲覧】

は、HEAVEN（天国）とJapanese（日本人）を合成した造語です。それは天の道に歩む日本人を意味しています。HEAVENESE BRIDGEは、高貴なる天の道に歩むものたちが渡る橋となり、日本精神によって世界に光を放つ者たちの足下を照らす、ささやかな灯となることを願い』と述べており、右翼的な思想やカルト宗教のようなイメージを感じ取ることができる。HEAVENESEは活動を通して『信念に基づき、『誇り高き日本人』を育成することを目的に』しているが、そもそもHEAVENESEというバンド名が、ピュアな日本語ではなく英語である点に疑問を感じる。また、HEAVENESEが開催するイベントは『俗にいわれる『東京裁判史観』からの解放を促すもので、まるで『講談師』のようだと評されるマレのドキュメンタリー歴史トークに人々の魂は振るわされ、「日本人でよかった」あるいは「はじめて日本が好きになった」などの声が多く寄せられています。武士道に感銘をうけた学生から「鬱の投薬治療をやめることができた」という報告』がされており、どこか新興宗教と似た思想を感じ取ることができる。

加えて、2021年11月20日現在、YouTubeのHEAVENESEの公式チャンネルであるHeaveneseJPが投稿した最も再生回数の多い動画は『コロナラプソディ Corona Rhapsody feat.大橋眞（徳島大学名誉教授）／HEAVENESE（ヘヴニーズ）』であり、20万回再生を超えている。この動画はタイトルの通り、ボヘミアンラプソディのパロディ版であり、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する内容の曲である。この動画のコメント数は664件であるが、その9割以上のコメントがこの動画への好意的な内容である。ソーシャルメディア上では似た者同士が繋がり、自分好みの情報を選択することによって、自分の興味関心のある情報のみが届き、自分とは違う意見がシステム的に隠蔽され閉じた環境が形成される、という情報環境問題が浮き彫りになっている事例ではないだろうか。

因みに、2021年12月29日現在、この動画は1年3ヶ月の時を経た末にYouTubeの運営によって削除され、HeaveneseJPはこのYouTube運営の動画削除行為に対して反対する内容の動画[50]をYouTubeに投稿している。

50 「コロナラプソディ ~第2楽章~ ／ HEAVENESE ヘヴニーズ（feat.よしりん）」『Youtube』【2021年12月9日】
https://www.youtube.com/watch?v=FOzzZhyGd1w【2021年12月29日最終閲覧】

また、原作のコロナラプソディはオンライン動画プラットフォームであるRumble に再投稿されている[51]。Facebook の HEAVENESE の公式アカウントである Heavenese[52] は、YouTube に投稿した動画が度々削除されていると報告の投稿をしており、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する内容の動画が、過去にはさらに数多くインターネット上に出回っていた、と推測することができる。最後に、そもそも外務省が新型コロナウイルス感染症に関して誤った情報を流す HEAVENESE の活動を後援しているのは何故なのだろうか。

第 2 節　新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する人々に関する特徴と傾向

WeRise 実行委員会が開催するイベントやキックバックカフェは、一般人の参加が可能であり、多くの人々がマスクを着用せずに参加している。また、WeRise 提言のサイトには、署名者や募金者から数多くのコメントが寄せられている。そのため、第 2 節ではこれらのコメントを 7 つのカテゴリーに分類することで、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動に参加する人々の特徴や傾向を明らかにする。

WeRise 提言の署名サイトに寄せられているコメントは全部で 5095 件であり、これらのコメントを以下の 7 つのカテゴリーに分類した。

2413 件　感謝や応援、その他　・・・①
695 件　狂気や陰謀等、不公平な世界に対する不満　・・・②
643 件　新型コロナワクチン接種に対する不満　・・・③

51 「コロナラプソディ Corona Rhapsody / HEAVENESE (feat. 大橋眞 徳島大学名誉教授) originaly released on August 31 2020」『Rumble』【2021 年 11 月 28 日】https://rumble.com/vpx3on--heavenese-feat.-.html【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
52 HEAVENESE Facebook 公式アカウント https://ja-jp.facebook.com/HEAVENESE【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】

462 件　マスコミやメディアに対する批判　・・・④
417 件　子供達のためにという意見　・・・⑤
387 件　日本人の誇りや日本のためにという意見　・・・⑥
78 件　対外国や中国批判に関する意見　・・・⑦

数としては全体の約半数を①が占めており、②と③が同じくらい、④、⑤、⑥が同じくらい、そして⑦が最も少ない結果になった。次に、これらの結果から分かることをまとめていく。

まず、全体の約半数を占めている①は、「ありがとうございます、一緒に頑張りましょう、応援します。」といった内容のコメントが多く見られた。①は WeRise 提言に対する好意的なコメントであり、多くの人々が活動内容に賛同した上で署名や募金をしている、ということを確認することができる。

②、③、④は、直接的に WeRise 提言を応援するコメントではなく、いわば逆説的な「人類をサイバー空間に閉じ込める狂気の計画の入り口として絶対に止めなければならない。カルトの策謀を蹴散らそう！！」といった、不公平な世界や新型コロナワクチン接種、メディア等に対する不満を表したコメントである。これらを踏まえると、新型コロナウイルス感染症に関する自身のメディアやディープステートに対する不満な感情から、WeRise 提言という署名、募金活動に辿り着いた人々が一定数存在する、ということが分かるだろう。

また、⑤や⑥は、子供達のためにという感情や日本人の誇りや日本のためにという自身の正義感をコメントしたものである。これらから分かることは、国民の新型コロナウイルス感染症に対する考え方に違いはあれど、「ウイルスから家族を守りたい」、「コロナ禍を乗り越えたい」といった気持ちは根本的に変わらないということである。ただし、デマや誤った情報を意図的に流している人々は例外である。WeRise 提言にコメントを残している人々は、自身の名前を用いて署名や募金をしているため、そのような人々は少数派であると考えている。

加えて⑥のコメントからは、ナショナリズム的な思考や右翼的な思想から陰謀論に傾倒する人々が一定数存在することが分かる。第 2 章第 1 節で

取り上げた、WeRise 実行委員会が開催するイベントに数多く出演しているHEAVENESE も、同じく右翼的な思想を色濃く持つ集団であった。このような極端な思想は、陰謀論に傾倒しやすくなる傾向があるのではないだろうか。

⑦は、対外国や中国に対する批判的なコメントであり、新型コロナウイルス感染症の起源が中国研究所からの流出ではないかという噂話[53]が絶えない中、7つのカテゴリーの中で最もコメント数が少ないのが意外であるが、こうしたコメントは②の不公平な世界に対する不満を表したコメントに変化しているのではないかと考える。具体的には、「また中国の仕業か！！」といった内容から、「中国ウイルスによるあらゆる規制は、世界の経済を独占しようとする一部の人間によって指示が出されている。世界的な新型コロナ詐欺による犯罪や被害の実態等が公になる事を期待している。」といった内容に変わっているということである。ただ単に外国や中国を批判するのみならず、そこに仮説や陰謀論を見出しているのは、新型コロナウイルス感染症の流行によって、社会的に孤立する人々がますます増え、仮に誤った情報であったとしても「自分は知っている」という情報格差による優越性を求める人々が増えているのではないか、と考えることもできるだろう。

コメント全体を通して、自分の考えが正しいと思っている内容のものが多く見受けられた。ここからは、いくつかの気になったコメントをピックアップして考察することにする。

まず、①のカテゴリーに分類される「家族には何とか伝わりましたが他人に伝えようとしてもなかなか信じてもらえません。 医者の言葉はとても重いと感じました。頑張ってください。」というコメントである。このコメントからは、コメント投稿者が家族を説得し、家族はそれに屈したものの、他人は聞く耳を持ってくれないという状況が想像できるだろう。また、WeRise 提言のサイトに載っている7人の有識者の中には、複数の医師も含まれているが、医師の意見が全て正しいと結論づけることは危険である。なぜなら第2章第1節で述べたように、新型コロナウイルスへの世情や施策に

53 「新型コロナ起源、中国研究所の流出説消えず　米報告書」『日本経済新聞』2021年10月30日

反対するスタンスを取ること自体が、１つのお金儲けの手段になっているからである。そのため、私たちは先入観を捨て、「医師の言うことは正しい」、「教授の言い分が絶対に正しい」という柔軟性に欠けた考え方は自重する必要があるだろう。WeRise 提言の活動によって、多くの人々から募金として集められた資金の使い道が、未だに公に明示されていない点から考えても、こうした資金は、これまでの活動の運営費やイベントの開催経費に充てられるだけなのではないだろうか。

次に、②のカテゴリーに分類される「政府の政策にウンザリしています。アメリカの大統領選挙が不正選挙であり、コロナから仕組まれたものだというのは明らかです。アメリカの民主主義は終わりました。中国の犬です。」というコメントである。このコメントは、一般人からは典型的な陰謀論に映るだろうが、加えてＱアノンの思想が含まれている、という点が重要であると考える。Ｑアノンは、様々な主張と妄想が渾然一体となった陰謀論であると考えられているが、その中心はトランプ前大統領がディープステートと戦う英雄である、というものである[54]。2020 年アメリカ大統領選挙での選挙不正を訴えるＱアノンの信奉者らによって引き起こされたアメリカ連邦議会乱入事件が起こったのは 2021 年１月６日であり、日本でもＱアノンを信奉し、トランプ前大統領を救世主であると崇める人々は増え、通称Ｊアノンと呼ばれている[55]。WeRise 提言の活動は、2020 年 12 月 14 日に開始しており、アメリカ連邦議会乱入事件発生前のＱアノンが最も勢力を拡大していた時期と被っていると言えるだろう。そのため、Ｑアノンの信奉者らが一定の割合で WeRise 提言の活動に流れ込んでいると仮定すると、②の不公平な世界に対する不満などを表すコメントが全体で２番目に多いコメント数になっていることは、納得できるのではないだろうか。

そして、④のカテゴリーに分類される「テレビ、新聞のあおり報道にはう

54「「Ｑアノン・シャーマン」に禁錮３年５カ月の実刑判決　米連邦議会襲撃」『BBC NEWS JAPAN』2021 年 11 月 18 日
https://www.bbc.com/japanese/59328683【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】

55 「陰謀論の思考とは／下　トランプ氏支持者「Ｊアノン」のデモに同行　古いメディアは「フェイク」」『毎日新聞』2021 年６月６日

んざりです。ワイドショーは腹が立つので見ません。周りにはコロナ警察やマスク警察がいっぱい。」というコメントである。我々人間には認知の癖があり、直感や先入観に基づいて注目すべき情報を限定した上で、過去に上手くいった行動パターンを選択しがちである。こうした傾向を認知バイアスと呼ぶが、人間の認知バイアスは「自分の見たいように見る」ものであるため、自分の意見や価値観に合致する情報ばかりを集め、それらに反する情報は無視をする傾向がある。この傾向は確証バイアスと呼ばれるが、加えて、自分の世界観に合わない情報に出会った際、無視するのみならず自分の世界観にさらに固執するようになるというバックファイヤー効果がある。このコメントから分かるのは、人間の認知バイアスが働くことにより、自分の世界観に合わない情報がシャットアウトされている、ということである。こうした状況に陥る前に、人間には認知バイアスの働きがあるためネットの情報を鵜呑みにするのは危険である、ということをあらかじめ知っておくことも誤情報に騙されないための１つの予防策になるのではないだろうか。

最後に、⑥のカテゴリーに分類される「本来の日本人を取り戻してほしいです。古き良き日本を！」というコメントである。こうしたコメントの数は少ないものの、一定の割合で見られるため、HEAVENESE の活動から流れ込んできた人々ではないかと考える。HEAVENESE の活動では『和を以て尊しとなす』に代表される『大和心』を最も大切にしており、日本精神を意識したものになっている。このコメント投稿者の「本来の日本人」や「古き良き日本」とはそうした類のものではないだろうか。

こうした陰謀論とナショナリズムの関連性については、主に近年のトランプ前大統領の事例[56]が挙げられるだろう。白人ブルーカラーやキリスト教保守派などの反エスタブリッシュメントの感情を共有する人々にとって、トランプ前大統領は自分たちのために戦ってくれる政治家だと映っていたはずである。そのため、トランプ前大統領が「この選挙は不正だ」と言えば、その発言に便乗する人々もそれだけ多くなる。こうした状況が生じる最も大き

56 「トランプの陰謀論」が今なお 5000 万人を魅了するワケ。『白人ナショナリズム』著者、渡辺靖に訊く」『FINDERS』2021 年 1 月 8 日
https://finders.me/articles.php?id=2529&p=1【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】

な要因は、アメリカ国内の経済的格差の拡大や白人のマイノリティ化による、既得権益層やエリートに対する不満であると考える。日本においては、失業率が低い点や社会保障が上手く機能している点、移民、難民の受け入れ数が少ない点などから、こうした不満が先鋭化し新たなポピュリズムを台頭させるまでには及んでいないのだろう。しかし、HEAVENESE の活動が徐々に支持を集めているのは事実であり、陰謀論とナショナリズムが一体になった形で、日本を蝕み始める未来もそう遠くないのではないだろうか。

終章　まとめと課題

第 1 節　まとめと結論

第 1 章では、書籍という媒体に焦点を当て、市販されている新型コロナワクチンに関する書籍の特徴や傾向を、第 1 節ではデータを用いた実証的な側面から、第 2 節ではそれらを出版している出版社や関係者の考察から、整理、検討した。第 1 節では、刊行されている新型コロナワクチンに関する 54 冊の書籍の内容を、新型コロナワクチン接種に関して賛成派、慎重派、反対派の 3 つのカテゴリーに分類して分析した。また、神戸市を含む 5 つの政令指定都市の公共図書館における新型コロナワクチンの関連書籍所蔵状況について調べた。第 2 節では、新型コロナワクチン反対派の書籍の多数を占める出版社であるヒカルランドと共栄書房に注目して整理した。

第 2 章では、インターネットという媒体に焦点を当て、インターネット上の新型コロナウイルスへの世情や施策に反対する活動を取り上げ、整理した。第 1 節では一般社団法人 Social Good が運営する Voice という web サービス上の、『【10 万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』と『厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである。』という署名、募金活動に注目して整理、検討した。第 2 節では後者の署名、募金活動に参加している人々の特徴や傾向を明らかにするため、署名者や募金者から寄せられた 5095 件のコメントを 7 つのカ

テゴリーに分類して分析した。

これらから、いくつかの明らかになった点を次のようにまとめることができる。

第1章より、新型コロナウイルス感染症に関連するデマや陰謀論、不確かな情報等は、特定の人物や出版社から重複して発信される傾向があるということである。ヒカルランドや共栄書房から出版されている書籍のうち、新型コロナワクチン反対派の書籍の複数冊が同じ著者によって執筆されたものであった。加えて、関西圏の公共図書館には、新型コロナワクチンの関連書籍が他圏域に比べ比較的多く所蔵されている傾向があり、所蔵数が最も多い神戸市を頂点とし、それ以上に人口が増加しても減少しても、所蔵数が減少する傾向があることも分かった。そして、公共図書館に所蔵されている新型コロナワクチン反対派の書籍数は、地域によって大きく異なるということが明らかになった。

また、新型コロナウイルス感染症に関連するデマや陰謀論、不確かな情報等は、疑似科学と近い出処を持つということも挙げられる。ヒカルランドから出版されている新型コロナワクチンに関蓮する書籍の18冊のうち17冊が新型コロナワクチン反対派であり、ヒカルランドの書籍の末尾やホームページ上にて販売されている情報商材や高額なオカルト商品は、ある種の奇妙さを覚えるものであった。花伝社の書籍の発売元である共栄書房は、「自由な発想で同時代をとらえる」を合言葉にした長年の経営により、新型コロナワクチン反対派に関する書籍や、疑似科学に関する書籍が生まれる素地が徐々に育まれたため、ホームページのトップの新刊案内にて紹介されている書籍の多数が、陰謀や疑似科学関連のものであった。

第2章より、新型コロナウイルスへの世情や施策に反対のスタンスを取ることで、一部の人は儲かり、1つのビジネスモデルになっているということである。Voiceのホームページ上にて公開されている18の署名、募金活動のうち、実に13の活動が新型コロナウイルス感染症に関連するものであり、活動において募金や寄附が発生した場合には、募金額のうちシステム利用料として25%と、決済代行手数料として3.6%をVoice側に支払う仕組みになっ

ていた。『【10万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。』の署名、募金活動やWeRise提言に募金として集まった資金は使い道が明示されておらず、募金者に対する明確な説明もないままであった。加えて、前者の活動は2021年9月3日の読売新聞の全国紙朝刊に意見広告として大々的に掲載されていたり、後者の活動はWeRiseの公式サイトにて、イベントチケットや過去のイベントのアーカイブ動画、リモート講演の視聴利権などが販売されていたりした。

そして、新型コロナウイルス感染症に関連するデマや陰謀論、不確かな情報等は、不可解な点が多く見受けられ、詳細を調べると合理性に欠けるものが多いということである。WeRise提言に明記されている、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを比較説明している箇所は、そもそも比較対象の前提が成り立っていないため、論理が破綻した誤った情報であった。WeRise実行委員会による厚生労働省への署名者名簿提出の報告も、署名者や募金者が到底納得できる内容ではなかった。

最後に、不公平な世界や新型コロナワクチン、メディア等に対する不満からWeRise提言に賛同する人々、ナショナリズム的な思考や右翼的な思想から陰謀論に傾倒する人々、対外国や中国批判が不公平な世界に対する不満へ変化している人々が一定の割合で存在するのではないか、ということが挙げられる。

第2節　提案と課題

デマや陰謀論に溢れた世界になりつつある今、私は陰謀論の時代を生き抜くための対処法を3点挙げる。

まず、デマや誤情報を見抜くスキルを個人レベルで身につけるということである。今日ますます重要になっているのは、様々なリテラシーの中でも、書籍やテレビ、インターネットなどのメディアから得られる情報に対するメディアリテラシーであると考える。アメリカのワシントンDCにあるニュースとジャーナリズムの博物館「ニュージアム」では、インターネット上の情報を評価する際に、疑うべき6つの項目を挙げている[57]。それは証拠、情報

源、文脈、読者、目的、完成度であり、これらの6つの項目を意識することでデマや誤情報の被害に遭う確率を減らすことができるとされている。

次に、デマや誤情報に異を唱えられる社会を作っていくということである。最近では、発信された情報が客観的事実に基づいているか否かを調査し、情報の正確性を評価するファクトチェックが世界的な規模で盛んになりつつある。例えば、バズフィード・ジャパンはインターネットメディアである強みを生かし、速効性の高いファクトチェックを行っており、フェイクサイトやデマ、誤情報などを見破ることに貢献している[58]。今後は、こうしたファクトチェックが情報の真偽検証に用いられるのみならず、デマや誤情報に異を唱えるための社会基盤になっていく必要があるのではないだろうか。

そして、表現の自由と法の規制のバランスを両立させるということである。近年、インターネット上の誹謗中傷は社会問題になっており、名誉毀損や人権侵害として起訴される事例も増えている[59]。その一方で、政府による過度な規制は言論の抑圧につながるという懸念も生まれている。ドイツでは、2017年10月1日に施行された「ネットワーク執行法」によって、SNS等に投稿された明らかに違法なコンテンツを申告から24時間以内に削除しないと、プラットフォーム企業に対して最大で5000万ユーロの罰金が課される可能性があるようになった[60]。表現の自由と法の規制の線引きは難しく、プロのジャーナリストでも人により判断が異なる。いずれにせよ、近年のデマや誤情報の氾濫に対して議論が始まったという点は評価すべきであると考える。

57　NEWSEUM ホームページ
https://www.newseum.org【2021年12月29日最終閲覧】

58　BuzzFeed FACT CHECK
https://www.buzzfeed.com/jp/badge/factcheckjp【2021年12月29日最終閲覧】

59　「侮辱罪厳罰化でネット中傷抑止期待　名誉毀損との適用の違いは…」『産経新聞』2021年10月21日

60　総務省総合通信基盤局「ドイツ ネットワーク執行法について」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000534881.pdf【2021年12月29日最終閲覧】

最後に、本論文の課題を挙げると、以下の２点が指摘できる。

１ インターネット上におけるデマや陰謀論に関する分析が、Voice 上での署名、募金活動に限定されているということ。

２ 現代医学をスピリチュアルや補完代替療法と無縁のものだと位置付け、スピリチュアルやオカルトに対比する形で分析しているということ。

１に関して、インターネット上には様々な SNS プラットフォームが存在し、情報の相互伝達が行われている。その代表的なものとしては、動画共有プラットフォームである YouTube や、利用者の多い Twitter、Facebook、Instagram などが挙げられるが、本論文で取り上げたのは主に Voice という Web サービスに限定されたものであった。そのため、より広い視野からデマや陰謀論の広がりを捉え、それらが成立する社会的背景や基盤を考察するには不十分であったと考えられる。

２に関して、スピリチュアルや補完代替療法が現代医学と無縁のものだと切り捨てるのは安易な考えであった。なぜなら、実際にスピリチュアルや補完代替療法の需要があるということは、それらに救われている人が存在しているからである。ヒカルランドのホームページや書籍の末尾にて販売されている、高額な健康グッズや美容器具、剣や石鏡、量子水整水器なども、真の効果は使用する本人に委ねられる。本論文では、現代医学に対する対比構造を明確にして議論を展開するために、スピリチュアルや補完代替療法を対照的なものとして取り挙げた次第であるが、これらの効果も考慮した上で分析した方が、より現代医学に対する理解が深まるのではないだろうか。

以上２点が本論文の課題として挙げられる。今後は引き続きこれらを分析し、デマや陰謀論の時代を生き抜く姿勢とはどのようなものなのか、より深く検討していきたいと考えている。

最後に、本論文は昆野教授のアドバイスや文章の校正、些細な相談に乗ってくれた友人や家族の協力があり、完成させることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は混沌の時代が続いているが、だからこそデマや陰謀論という話題に注目するきっかけになったのも事実である。卒業論文の執筆が上手くいかない日々も多々あったが、無事に取り組めたのは周囲の人々の支えがあったからである。昆野教授をはじめ、卒業論文の執筆に

協力してくださった全ての人に感謝を申し上げ、本論文の結尾としたい。

＜参考文献リスト＞

＜参考文献＞
飛鳥昭雄『打つな！飲むな！死ぬぞ！』ヒカルランド、2021 年
井上正康、坂の上雫『コロナワクチン幻想を切る』ヒカルランド、2021 年
笹原和俊『フェイクニュースを科学する』同人文庫、2021 年 (初版、化学同人、2018 年)
副島隆彦『陰謀論とは何か』幻冬舎新書、2012 年
田中聡『陰謀論の正体！』幻冬舎新書、2014 年
辻隆太郎「陰謀論へのイントロダクション」『現代思想 特集「陰謀論」の時代』第 49 巻第 6 号、2021 年 5 月
藤代裕之『フェイクニュースの生態系』青弓社、2021 年
船瀬俊介『コロナとワクチン』共栄書房、2021 年
船瀬俊介『ワクチンで殺される』共栄書房、2021 年
渡辺靖、森本あんり「「陰謀論大国アメリカ」のゆくえ」『中央公論 陰謀論が世界を蝕む』第 135 巻第 5 号、2021 年 5 月
＜新聞＞
「陰謀論の思考とは／下　トランプ氏支持者「Ｊアノン」のデモに同行　古いメディアは「フェイク」」『毎日新聞』2021 年 6 月 6 日
「まだネットに出るワクチン陰謀論　あなたは信じる？若者に聞いた」『朝日新聞』2021 年 8 月 27 日
「［虚実のはざま］深まる断絶（４）家族豹変　相談できず」『読売新聞』2021 年 9 月 14 日
「マスクせず、接種停止求めるチラシを中学生らに配布…市議を厳重注意に」『読売新聞』2021 年 9 月 15 日
「侮辱罪厳罰化でネット中傷抑止期待　名誉毀損との適用の違いは…」『産経新聞』2021 年 10 月 21 日
「新型コロナ起源、中国研究所の流出説消えず　米報告書」『日本経済新聞』2021 年 10 月 30 日
＜インターネット＞
ウエルネス「Rebirth（リバース）」商品ページ
http://wellness7.co.jp/detail/rebirth.php【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
エルネオス出版社 ホームページ

http://www.elneos.jp【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
大阪市立図書館蔵書検索
https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=266【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
「岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会」『PR TIMES』2021 年 12 月 14 日
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/91694【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
「オミクロン株感染者 日本初確認 ナミビアから入国の 30 代外交官」『NHK』2021 年 11 月 30 日
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211130/k10013368041000.html【2021 年 12 月 31 日最終閲覧】
花伝社のあゆみ その 4　花伝社創立 25 周年にあたって
http://www.kadensha.net/info_ayumi04.html【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
花伝社 ホームページ
http://www.kadensha.net【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
かねしろクリニック 報告ツイート
https://twitter.com/kobaryu5000/status/1412340657809543169【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
かねしろクリニック ホームページ
https://www.kaneshiro-honest-clinic.com【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
かねしろクリニック Twitter 公式アカウント
https://twitter.com/UvyzfjMitbDAKrQ【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
かねしろクリニック 2021 年 6 月 30 日 ツイート
https://twitter.com/kobaryu5000/status/1412429716225593346【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
共栄書房 ホームページ
http://www.kyoeishobo.net【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】
公益社団法人 日本 WHO 協会
https://japan-who.or.jp/news-releases/2009-31/【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
神戸市図書館情報ネットワーク 蔵書検索システム
https://www.lib.city.kobe.jp/opac/opacs/find_books【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
国立国会図書館サーチ
https://iss.ndl.go.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
「コロナラプソディ ~ 第 2 楽章 ~ ／ HEAVENESE ヘヴニーズ（feat. よしりん）」

『Youtube』【2021 年 12 月 9 日】
https://www.youtube.com/watch?v=FOzzZhyGd1w【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
「コロナラプソディ Corona Rhapsody / HEAVENESE（2feat. 大橋眞 徳島大学名誉教授）originaly released on August 31 2020」『Rumble』【2021 年 11 月 28 日】
https://rumble.com/vpx3on--heavenese-feat.-.html【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
「さくらももこさん 治療法求め全国へ…友人語るがん模索の日々」『excite ニュース』2018 年 9 月 4 日
https://www.excite.co.jp/news/article/Jisin_1661617/【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
「さくらももこさんの「スピリチュアル」秘話　親交あった精神世界分野の出版社社長に聞く」『zakzak by 夕刊フジ』2018 年 8 月 30 日
https://www.zakzak.co.jp/ent/news/180830/ent1808308184-n1.html【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
静岡市立図書館 本・資料を探す
https://www.toshokan.city.shizuoka.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
首相官邸「新型コロナワクチンについて」
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
仙台市図書館 資料の検索・予約
https://lib-www.smt.city.sendai.jp【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
総務省総合通信基盤局「ドイツ ネットワーク執行法について」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000534881.pdf【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
総務省 平成 27 年国勢調査
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/shitei_toshi-ichiran.html【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
徳島大学「本学名誉教授　大橋眞氏の活動に対する苦情について」
https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/22379.html【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
特許法 第２条第１項
https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=334AC0000000121【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
「「トランプの陰謀論」が今なお 5000 万人を魅了するワケ。『白人ナショナリズム』著者、渡辺靖に訊く」『FINDERS』2021 年 1 月 8 日
https://finders.me/articles.php?id=2529&p=1【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
「長引くコロナ禍、時系列で振り返る　アベノマスクにＧｏＴｏ、オミクロン株登場…」

『河北新報』2021 年 9 月 1 日
https://kahoku.news/articles/20210901khn000034.html【2021 年 12 月 31 日最終閲覧】
「日本初！社会に声を上げるために「声」と「資金」はここで集める！「募金」が集まる署名サイト「Voice(ボイス)」がオープン」『アットプレス』2020 年 7 月 30 日
https://www.atpress.ne.jp/news/219443【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
「鼻出しマスクで議員辞職勧告「臼杵市議」の正体　54 万円集めて新聞に出した意見広告の中身」『デイリー新潮』2021 年 10 月 6 日
https://www.dailyshincho.jp/article/2021/10061102/?all=1&page=1【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
「【反ワクチン】“根拠のない情報”で　20 年以上暮らした夫婦に別れ」『日本テレビ、Youtube』【2021 年 9 月 29 日放送】
https://www.youtube.com/watch?v=3RNF3CH1zi8【2021 年 10 月 29 日最終閲覧】
「反ワクチン本の驚くべき「テキトー」さ」『Yahoo! ニュース』2021 年 11 月 16 日
https://news.yahoo.co.jp/articles/510cebc2ea4ce36d7a33d4e4249873384f24d415【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
ヒカルランド ホームページ
https://www.hikaruland.co.jp【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】
「米民主党の「ピザゲート」？　偽ニュースや陰謀論の生まれ方」『BBC NEWS JAPAN』2016 年 12 月 2 日
https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-38179131【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
「マイクロソフトもワクチンを義務化、グーグルや FB らに追従」『Forbes JAPAN』2021 年 8 月 4 日
https://forbesjapan.com/articles/detail/42681【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】
横浜市立図書館蔵書検索ページ
https://opac.lib.city.yokohama.lg.jp/opac/OPP0200【2021 年 12 月 21 日最終閲覧】
若林純一の活動日記 2021 年 10 月 19 日火曜日
http://usuki.blogspot.com/2021/10/【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
BuzzFeed FACT CHECK
https://www.buzzfeed.com/jp/badge/factcheckjp【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
CiNii Articles「量子水」検索結果
https://ci.nii.ac.jp/search?q= 量 子 水 &range=0&count=20&sortorder=1&type=0【2021 年 12 月 23 日最終閲覧】

HEAVENESE ホームページ
https://heavenese.jp/index_j.html【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
HEAVENESE Facebook 公式アカウント
https://ja-jp.facebook.com/HEAVENESE【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
Liliana Bounegru、Jonathan Gray、Tommaso Venturini、Michele Mauri 著、JCEJ 翻訳『フェイクニュース調査のフィールドガイド 日本語版』The Public Data Lab、2018 年 http://jcej.info/lib/FieldGuideToFakeNews_v1.pdf【2021 年 11 月 7 日最終閲覧】
NEWSEUM ホームページ
https://www.newseum.org【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
「「Q アノン・シャーマン」に禁錮 3 年 5 カ月の実刑判決　米連邦議会襲撃」『BBC NEWS JAPAN』2021 年 11 月 18 日
https://www.bbc.com/japanese/59328683【2021 年 12 月 29 日最終閲覧】
Twitter 検索「藤井聡 コロナ」
https://twitter.com/search?q= 藤井聡 %20 コロナ &src=typed_query【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice 経過報告「署名受け渡し方法の変更について」
https://voice.charity/events/15/reports/455【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice 経過報告「9 月 3 日（金）読売新聞 全国版（809 万部配布）に意見広告掲載」
https://voice.charity/events/112/reports/328【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice「厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである。」
https://voice.charity/events/15【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice「【こどもへのワクチン勧奨停止】【正確な情報の提供】を政府に求め、コロナワクチンからこども達を守ろう。」
https://voice.charity/events/133【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice 代表メッセージ
https://voice.charity/informations/message【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice ヒント & ガイド その他
https://voice.charity/informations/guide【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】
Voice ホームページ
https://voice.charity【2021 年 12 月 24 日最終閲覧】
Voice「【10 万人署名】子どもたちへの新型コロナワクチン接種の停止を求めます。」
https://voice.charity/events/112【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】

WeRise 公式サイト
https://www.werise.tokyo【2021 年 12 月 26 日最終閲覧】